

世界に平和を・戦争の基地はいらない

羽村平和委員会発・横田基地ミニ情報 2015.5.5 No. 228 連絡先 FAX 042-555-1911



「戦争NO!」「憲法守ろう!」 横浜の5・3憲法集会に3万人



憲法記念日の5月3日、横浜市の臨海パークで「平和といのちと人権を! 5・3憲法集会」が開催され、会場からあふれるほどの3万人以上が参加しました。

安倍政権は4月27日、日米軍事協力の指針(ガイドライン)で世界規模の戦争協力に合意しました。そして安倍首相は、米議会演説で「そのためのに必要な法案の成立を、この夏までに必ず実現します」と表明しました。安倍政権の暴走にストップを!

2+2で日米軍事協力の指針(ガイドライン)改訂 世界規模の戦争協力



日米の外交・軍事担当閣僚による会合(2プラス2)で、米軍と自衛隊の役割・任務分担を定めた「日米軍事協力の指針(ガイドライン)」が18年ぶりに改定され、世界規模で自衛隊による米軍支援を取り決めました。

写真は右より、カーター米国防長官、ケリー米國務長官、岸外務大臣、中谷防衛大臣。4月27日、ニューヨーク市、共同記者会見後の写真。(米軍横田基地HP)

ガイドラインは、日本への武力攻撃を想定して1978年に初めて策定されました。1997年に改定された時には、「日本防衛」という建前を捨て、米国がアジア太平洋地域で戦争に乗り出せば「日本周辺事態」の口実で自衛隊が米軍を支援することを取り決めました。今年、米側は「ガイドラインは日本の安全を高め、脅威を防ぎ、地域の平和と安全に寄与している」等と言い、日本により多くの役割を果たさせようとしています。新ガイドラインは「日本以外の国に対する武力攻撃への対処行動」の一つとして日本の集団的自衛権の行使を初めて盛り込みました。米国が世界のどこでも戦争に乗り出せば、自衛隊をいつでも派兵し米軍支援をできると言うのです。日本が米軍支援を世界規模に拡大する仕掛けを、憲法に違反して、国民の反対の声を無視して、2プラス2で決めてしまう、こんなことがあって良いのでしょうか。新ガイドラインを実践するための「戦争立法」に反対しましょう!

新ガイドライン 辺野古「唯一の解決策」と再確認、「思いやり予算」も継続へ協議

- 辺野古の新基地建設は、翁長知事が「知事と県民が反対している、オバマ大統領に伝えて」と安倍首相に言ったが、普天間基地の「継続的な使用を回避するための唯一の解決策であることを再確認した」と明記。
- 日米安保条約上の義務付けのない米軍への「思いやり予算」の特別協定が2016年3月で終了することを踏まえ、「適切な水準の在日米軍駐留経費負担を行う将来の取決めに関する協議を開始する」と明記。
- 「自衛隊及び米軍は、日本に対する弾道ミサイル攻撃に対処するため、共同作戦を実施」「自衛隊は、日本を防衛するため、弾道ミサイル防衛を主体的に実施」。日本が標的ですか?横田は弾道ミサイル防衛の拠点です。
- 日米両政府は「共同計画を策定し及び更新」「共同計画は、日米両政府双方の計画に反映される」。危険です。

政府は4月24日、国会内で開かれた「戦争立法」に関する自民・公明両党の与党協議会に、新設される海外派兵恒久法（国際平和支援法）と、現行の派兵関連法の改定案10本の条文案を提示しました（表）。協議で異論は出ず、事実上、了承されました。

27日には条文に反映されない課題についての「政府統一見解」が示され、昨年5月から続いてきた与党協議は終局に向かいます。

安倍政権は自公が5月11日に行う法案の最終審査を経て、15日にも法案を国会に提出するかまです。24日の協議では、過去、1本だけで複数国会にまたがって審議し、審議時間も100時間を超えたような派兵法の改定案を「一括法」として処理する考えも示されました。しかも、これ以外にも「技術的な改正を行う法律が多数ある」見通しです。

「戦争立法」の主要11法案

新設

国際平和支援法（派兵恒久法）

改定

- ①自衛隊法（他国軍の武器等防護、「法人救出」、「平時」の物品・役務提供）
- ②国際平和協力法（国連PKO法）
- ③重要影響事態法（現・周辺事態法）
- ④船舶検査法
- ⑤武力攻撃・存立危機事態法（現・武力攻撃事態法）
- ⑥米軍等行動関連措置法（現・米軍行動関連措置法）
- ⑦特定公共施設利用法
- ⑧海上輸送規制法
- ⑨捕虜取り扱い法
- ⑩国家安全保障会議設置法

その他、多数の法改定を予定

富士演習場 5月8日、9日発着訓練 キャンプ富士 9日はフェスティバル



東富士演習場および北富士演習場で、MV-22 オスプレイ 2機が、5月8日(金)12:00から22:00まで、5月9日(土)17:00から22:00まで、離発着訓練を実施する計画です。経路地は横田か厚木か不明です。

5月9日(土)11:00から17:00まで、キャンプ富士で、フレンドシップフェスティバルが行われます。(入場は写真入り身分証明書が必要)

映画「ザ・思いやり予算」の上映と制作者 リラン・バクレーさんのお話



6月7日(日)立川アイム 米軍基地問題を考えるつどい
「横田基地もいらない! 10.10 市民交流集会」プレ企画のご案内

米国テキサス州生まれで厚木基地の近くに住んで20年。米国の戦争の歴史をひもとくと資源獲得のための戦争だと気づきました。なぜ米軍は日本にいるのか?疑問を感じていました。そんな時に「米軍への『思いやり予算』を東北の被災地へ」と活動している人たちを知りました。日本政府が「思いやり予算」で米兵に豪華な住宅を提供する一方、被災者は劣悪な仮設住宅。日本は米軍に1円も払うべきではない。

「これは軍事や経済だけでなく、倫理の問題だ」「活動はユーモアを持って楽しくがモットーです」。思いやり予算の疑問に挑むバクレーさんの言葉です。

*日時：6月7日(日) 1時開場 1時30分開会

*会場 立川市女性総合センター アイムホール JR立川北口徒歩5分

主催 横田基地もいらない! 沖縄とともに声を上げよう 10.10 市民交流集会実行委員会

「オモイヤリ予算」の疑問に挑む!!
ドキュメンタリー映画「ザ・思いやり予算」制作開始!!

知ツクマスか?
日本の防衛費が日本経済の成長に貢献していることを、自衛隊関係者の証言、心算演習、観念、飛行、操縦、マラソンなど北の戦術に現役演習していること、電報、米軍、が予算は思いやり、あつても自衛隊員利益が、すべてを犠牲にする、米軍による日本経済の成長にも関わっていること、米軍の成長を助けた日本の戦術がすべてに使われていること、

「オモイヤリ予算」は、米軍の「思いやり予算」をめぐって、日本と米軍の関係、そして、米軍の成長を助けた日本の戦術がすべてに使われていること、